



## 2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月12日

上場会社名 サンコール株式会社

上場取引所 東

コード番号 5985 URL <http://www.suncall.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大谷 忠雄

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 業務・管理部門長 (氏名) 杉村 和俊

TEL 075-881-5280

四半期報告書提出予定日 2020年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (個人投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	31,547	9.8	1,070	65.0	1,159	65.0	1,201	44.8
2019年3月期第3四半期	34,981	12.9	3,059	79.3	3,314	62.7	2,177	23.0

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 1,002百万円 ( 43.7%) 2019年3月期第3四半期 1,781百万円 ( 25.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	37.70	37.47
2019年3月期第3四半期	68.30	67.78

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	51,793	36,465	70.2	1,152.40
2019年3月期	50,481	36,280	71.7	1,133.61

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 36,377百万円 2019年3月期 36,185百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		8.00		11.00	19.00
2020年3月期		9.00			
2020年3月期(予想)				11.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	43,300	5.5	1,300	61.6	1,340	62.3	1,100	52.5	34.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	34,057,923 株	2019年3月期	34,057,923 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	2,490,873 株	2019年3月期	2,137,109 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	31,865,954 株	2019年3月期3Q	31,880,906 株

(注)自己株式数には業績連動型株式報酬制度に係る信託口に残存する当社株式が含まれております。

(自己株式数 2020年3月期3Q 379,520株 2019年3月期 462,760株)

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、様々な要因により上記予想数値と異なる場合があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(持分法適用の範囲の重要な変更に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	10
3. 海外売上高	11

※当社は、2月に投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の世界経済は、米中の通商問題や英国の欧州連合離脱問題の長期化等により依然先行き不透明な状況で推移しました。米国では設備投資が抑制されるなどのマイナス要因もありましたが、良好な雇用環境と株式などの資産価格の上昇が消費マインドを下支えし、経済成長率を維持しました。一方、中国経済は対米輸出が減少したものの、ハイテク製造業向け減税などの景気刺激策等により緩やかな減速となりました。ユーロ圏では海外景気の減速に伴い企業活動が停滞しましたが、良好な所得環境を受けた個人消費の拡大が景気の下支えとなりました。日本では個人消費や公共投資などの内需が依然として底堅く推移したものの、世界経済が勢いを欠いたことで企業収益は低迷しました。

当社グループの主な事業領域である自動車分野は、世界最大の自動車市場である中国で米中貿易摩擦による景気先行き不安の影響などにより新車販売の停滞が鮮明となるなど、世界新車販売の成長をけん引してきた新興国にブレーキがかかり、日米欧も振るいませんでした。

また、電子情報通信分野では、停滞が続いていたデータセンター向け投資が再開するなど、足元では緩やかな回復の兆しが見られました。

当社グループの業績もこのような外部環境の影響を強く受け、自動車分野は中国市場での販売が減少したことに加え、欧州向けの弁ばね用鋼材の輸出も自動車排ガス規制強化前の駆け込み需要の反動により低迷しました。電子情報通信分野の市況は徐々に改善し、HDD用サスペンションの需要も回復傾向にあるものの販売は高水準だった前年度からは大きく減少しました。その結果、売上高は315億47百万円（前年同四半期比9.8%減）となりました。

利益面では、自動車関連製品の採算は改善傾向にありますが、一部のアジア子会社を除き、世界経済の停滞による減収の影響に加え、HDD用サスペンションの新規モデルの開発・量産コスト等が先行したため、営業利益は10億70百万円（同65.0%減）となりました。経常利益は11億59百万円（同65.0%減）、投資有価証券売却益等により親会社株主に帰属する四半期純利益は12億1百万円（同44.8%減）となりました。

#### 《セグメントの業績》

##### [日本]

自動車分野では、シートベルト用部品やHV関連部品などは順調な販売が継続したものの、中国市場の減速によりミッション用部品などの主要製品の出荷数が減少し、加えて弁ばね用鋼材の輸出も欧州市場の冷え込み等により前年を下回りました。また電子情報通信分野でもニアライン向けHDD用サスペンションの需要回復が当社製品の販売を大きく伸ばすまでには至りませんでした。

結果として、セグメント売上高は207億19百万円（前年同四半期比12.3%減）、減収およびHDD用サスペンション開発コスト等によりセグメント利益は7億77百万円（同65.3%減）となりました。

##### [北米]

メキシコ子会社の弁ばね用鋼材及び自動車関連製品の販売は順調に推移しました。米国子会社の自動車関連製品ではミッション用部品の販売低調をエンジン用部品がカバーしましたが、通信関連販売は通信産業界の設備投資が鈍り前年比で減少しました。その結果、セグメント売上高は51億76百万円（前年同四半期比2.1%増）となりました。

利益面では、関税増加の影響や生産性改善遅れに伴う原価高などにより、1億24百万円のセグメント利益（同43.6%減）となりました。

##### [アジア]

ベトナム子会社のプリンター関連は好調を維持し増収増益となり、タイ子会社も景気減速の影響を受けましたが高水準の収益を維持しました。一方、中国子会社は内外需の不振により自動車・電子情報通信分野ともに前年業績を下回り、一部子会社の工場移転コストも膨らみました。

結果として、アジアセグメントの売上高は68億85百万円（前年同四半期比13.4%減）、セグメント利益は7億18百万円（同39.1%減）となりました。

## 《製品区分別の売上業績》

製品区分の名称	前第3四半期連結累計期間		当第3四半期連結累計期間		増 減	
	自 2018年4月1日 至 2018年12月31日		自 2019年4月1日 至 2019年12月31日			
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	前期比
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
材料関連製品	4,333	12.4	3,782	12.0	△551	△12.7
自動車関連製品	20,040	57.3	19,079	60.5	△961	△4.8
自動車分野	24,374	69.7	22,861	72.5	△1,512	△6.2
HDD用サスペンション	6,303	18.0	4,178	13.2	△2,125	△33.7
プリンター関連	2,941	8.4	2,633	8.4	△308	△10.5
通信関連	838	2.4	673	2.1	△165	△19.7
電子情報通信分野	10,083	28.8	7,484	23.7	△2,599	△25.8
その他製品	522	1.5	1,200	3.8	677	129.6
合 計	34,981	100.0	31,547	100.0	△3,434	△9.8

(自動車分野)

## [材料関連製品]

材料関連製品では、メキシコ子会社の弁ばね用鋼材販売は前年を上回りましたが、日本からの欧州向け販売は排ガス・燃費規制強化等の影響が残り需要が伸びませんでした。また、精密異形材についても中国自動車市場が停滞したことなどにより販売不振が続きました。その結果、売上高は37億82百万円（前年同四半期比12.7%減）となりました。

## [自動車関連製品]

自動車関連製品では、シートベルト関連やHV関連などの一部製品は前年比で増加しましたが、世界的な自動車市場の減速による下押し圧力が強まりました。特に中国向けはエンジン用・ミッション用部品が前年に比べ大幅に減少しました。その結果、売上高は190億79百万円（前年同四半期比4.8%減）となりました。

(電子情報通信分野)

## [HDD用サスペンション]

HDD用サスペンションは、大手IT企業のデータセンター投資は前年末より続いていた低迷から足元では復調の兆しが見受けられましたが、販売数量の増加には至らず、売上高は41億78百万円（前年同四半期比33.7%減）に留まりました。

## [プリンター関連]

プリンター関連は、ベトナム子会社で製造・販売するシャフトのうちTUBEタイプや事務機器向けは増加しましたが、中国子会社ではシャフト事業移管により規模が縮小し、タイでは景気減速の影響などを受けた結果、売上高は26億33百万円（前年同四半期比10.5%減）となりました。

## [通信関連]

通信関連は、主な市場である北米・中国における通信機器産業界の投資抑制などに伴い販売は落ち込み、売上高は6億73百万円（前年同四半期比19.7%減）となりました。

(その他製品)

その他製品では8月から新たに量産出荷を開始したスマートフォン用部品販売が寄与し、売上高は12億円（前年同四半期比129.6%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## 資産・負債・純資産の状況

## [資産]

総資産は517億93百万円（前連結会計年度末13億11百万円増）となりました。これは主に、配当金や固定資産の取得に伴う支払い等により現金及び預金が23億49百万円減少した一方、棚卸資産が9億35百万円、設備投資やIFRS第16号「リース」の適用等により有形固定資産が22億38百万円増加したことによります。

## [負債]

負債は153億27百万円（前連結会計年度末比11億26百万円増）となりました。これは主に、納税などにより未払法人税等が3億14百万円、外部借入れの返済等により長期借入金が3億60百万円、賞与支給により賞与引当金が1億70百万円減少した一方、支払手形及び買掛金が8億59百万円、IFRS第16号「リース」の適用等により固定負債その他に含まれる金融負債が4億43百万円増加したことによります。

## [純資産]

純資産は364億65百万円（前連結会計年度末比1億85百万円増）となりました。これは主に、利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益により12億1百万円、株価の上昇によりその他有価証券評価差額金が1億12百万円増加したものの、配当により利益剰余金が6億47百万円、前期末からの為替変動により為替換算調整勘定が3億2百万円減少し、また自己株式が取得等により1億60百万円増加したことによります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきましては、2019年10月23日に公表いたしました業績予想から修正しておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,861	9,512
受取手形及び売掛金	9,472	9,559
商品及び製品	1,727	2,130
仕掛品	1,981	2,052
原材料及び貯蔵品	1,858	2,319
その他	550	784
流動資産合計	27,452	26,359
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,909	5,648
機械装置及び運搬具(純額)	7,480	7,517
その他(純額)	4,183	5,645
有形固定資産合計	16,573	18,811
無形固定資産	464	450
投資その他の資産		
投資有価証券	4,697	4,895
その他	1,294	1,275
投資その他の資産合計	5,991	6,171
固定資産合計	23,029	25,433
資産合計	50,481	51,793
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,323	6,182
短期借入金	—	236
1年内返済予定の長期借入金	692	632
未払法人税等	394	79
役員賞与引当金	—	12
賞与引当金	439	268
その他	3,845	4,105
流動負債合計	10,694	11,519
固定負債		
長期借入金	1,864	1,563
退職給付に係る負債	908	942
株式給付引当金	56	72
その他	677	1,230
固定負債合計	3,506	3,808
負債合計	14,201	15,327

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,808	4,808
資本剰余金	2,827	2,824
利益剰余金	27,092	27,645
自己株式	△903	△1,063
株主資本合計	33,824	34,215
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,475	2,588
繰延ヘッジ損益	—	△1
為替換算調整勘定	△336	△638
退職給付に係る調整累計額	222	214
その他の包括利益累計額合計	2,361	2,162
新株予約権	94	87
純資産合計	36,280	36,465
負債純資産合計	50,481	51,793



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	34,981	31,547
売上原価	28,150	26,623
売上総利益	6,830	4,923
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	607	533
報酬及び給料手当	948	967
役員賞与引当金繰入額	19	13
賞与引当金繰入額	56	51
退職給付費用	58	67
その他	2,080	2,220
販売費及び一般管理費合計	3,770	3,852
営業利益	3,059	1,070
営業外収益		
受取配当金	141	155
物品売却益	93	79
為替差益	83	—
その他	74	53
営業外収益合計	393	288
営業外費用		
支払利息	106	114
持分法による投資損失	28	47
為替差損	—	25
その他	2	11
営業外費用合計	138	198
経常利益	3,314	1,159
特別利益		
固定資産売却益	12	2
投資有価証券売却益	12	563
その他	1	0
特別利益合計	26	566
特別損失		
固定資産廃棄損	35	16
在外子会社特別退職金	31	—
在外子会社移転関連費用	221	—
その他	10	2
特別損失合計	299	18
税金等調整前四半期純利益	3,041	1,708
法人税、住民税及び事業税	771	356
法人税等調整額	92	149
法人税等合計	864	506
四半期純利益	2,177	1,201
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,177	1,201

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	2,177	1,201
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△369	112
繰延ヘッジ損益	0	△1
為替換算調整勘定	△14	△292
退職給付に係る調整額	△11	△7
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△9
その他の包括利益合計	△396	△198
四半期包括利益	1,781	1,002
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,781	1,002
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(持分法適用の範囲の重要な変更に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

国際財務報告基準を適用する在外子会社において、IFRS第16号「リース」を第1四半期連結会計期間の期首より適用しております。当該会計基準の適用が四半期連結財務諸表に及ぼす影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	北米	アジア	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	22,395	5,061	7,523	34,981	—	34,981
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,226	6	431	1,664	△1,664	—
計	23,622	5,068	7,955	36,646	△1,664	34,981
セグメント利益	2,243	220	1,181	3,645	△585	3,059

(注) 1 セグメント利益の調整額△585百万円には、セグメント間取引消去△5百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△579百万円が含まれております。全社費用の主なものは、当社の業務・管理部門等にかかる費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	北米	アジア	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	19,792	5,170	6,583	31,547	—	31,547
セグメント間の内部売上高 又は振替高	926	5	302	1,234	△1,234	—
計	20,719	5,176	6,885	32,781	△1,234	31,547
セグメント利益	777	124	718	1,620	△549	1,070

(注) 1 セグメント利益の調整額△549百万円には、セグメント間取引消去22百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△572百万円が含まれております。全社費用の主なものは、当社の業務・管理部門等にかかる費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 3. 海外売上高

前第3四半期末連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

	米国	中国	フィリピン	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	3,322	3,918	6,369	6,665	20,275
II 連結売上高(百万円)					34,981
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	9.5	11.2	18.2	19.1	58.0

当第3四半期末連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

	米国	中国	フィリピン	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	3,332	2,902	4,179	6,522	16,937
II 連結売上高(百万円)					31,547
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	10.6	9.2	13.2	20.7	53.7

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 米国……………米国

(2) 中国……………中国

(3) フィリピン……………フィリピン

(4) その他の地域……………韓国、タイ、ベトナム、インドネシア、マレーシア、インド、シンガポール  
ブラジル、メキシコ、ドイツ、スイス

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。